

# 症例

## 【現病歴】

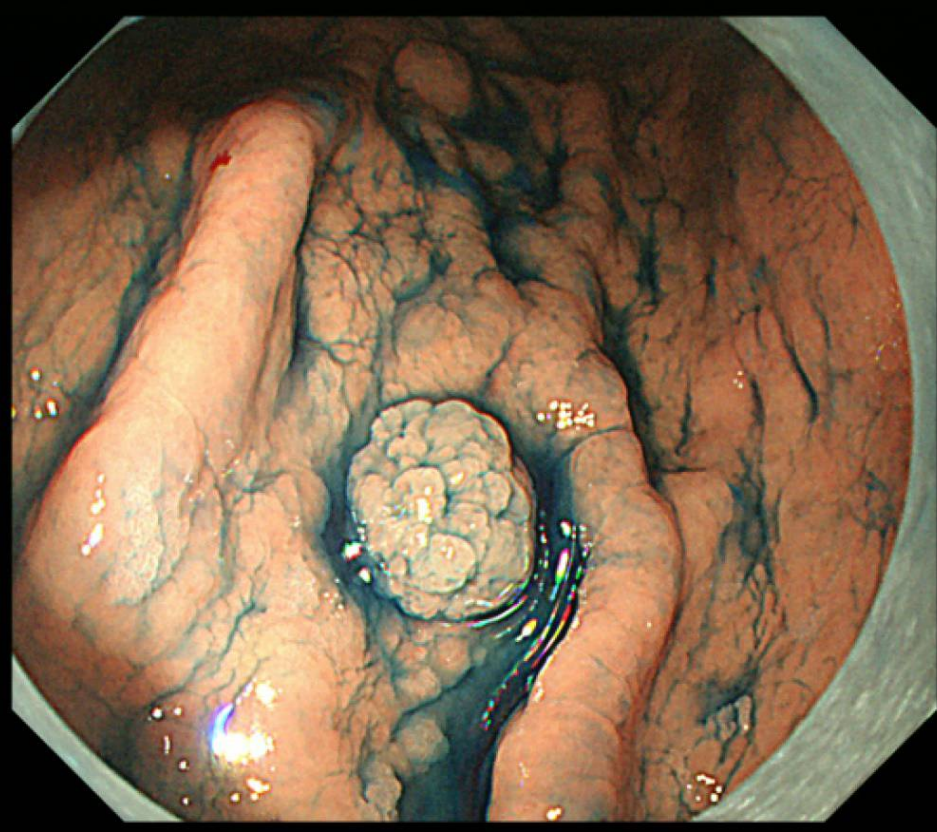
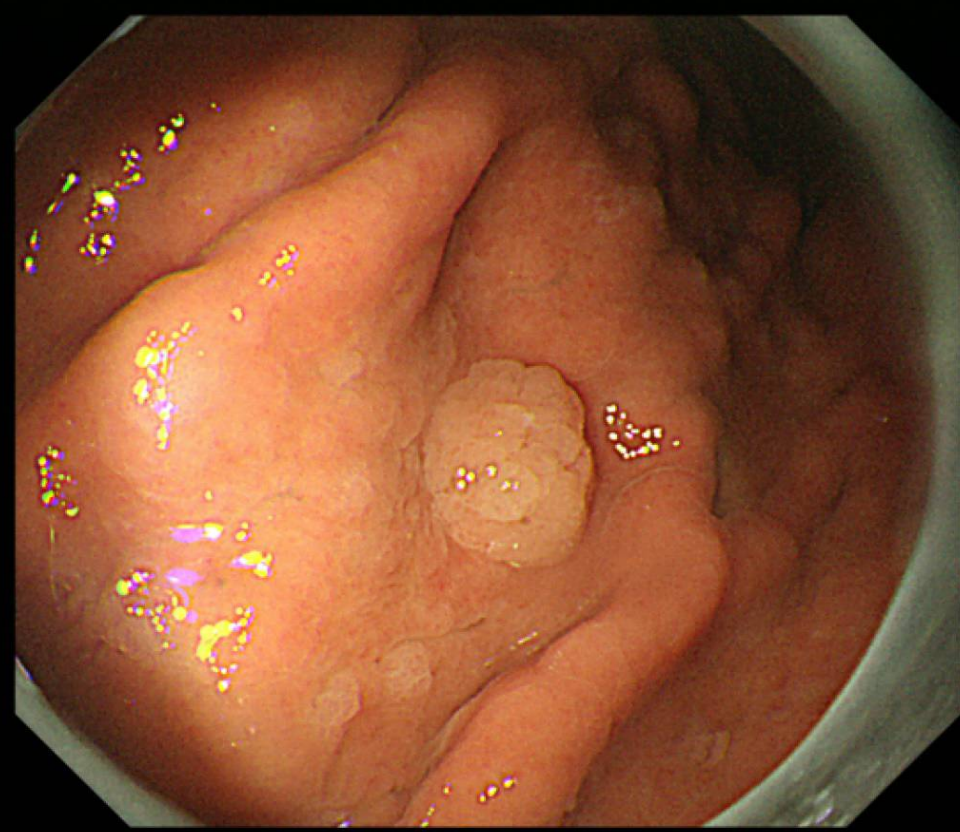
逆流性食道炎で前医通院中。

体上部大彎に8mm程度の扁平隆起を認め、腺腫が疑われたために紹介。

【既往歴】 白内障、腎盂炎

【嗜好歴】 飲酒(-)、喫煙(-)

【内服】 ネキシウム



# 胃底腺型胃癌

- 2010年に Ueyama と Yao らによって提唱された高分化型胃癌の組織亜型。
- 胃癌は粘液形質の特徴により「胃型」と「腸型」に分けられるが、「胃型」の中でも特に胃底腺への分化を示すものが「胃底腺型胃癌」である。
- 胃炎のない正常胃底腺粘膜の深層部から発生する。
  -

# 特徴

- ・ 小さく低悪性度であるが、高率で粘膜下層に浸潤する
- ・ 免疫組織学的にはMUC 6 やPepsinogen-I が陽性であるが、生検にて採取されないことも多い。

報告例が少なく、確立された内視鏡所見はない。

生検で結果が出なくても、小さくも粘膜下層浸潤が疑われる場合やSMT様所見呈する場合は、胃底腺型胃癌の可能性も念頭に置くべきである。